

「子どもたちとともに成長し、子どもたちとともに今を歩もう」 ～私たちにできる未来への一歩を～

子どもたちとPTAに関わるすべての皆様へ
皆さまこんにちは。まずはこの場をお借りして、日頃
から地域での活動に尽力されている皆さまに、心から
の敬意と感謝を申し上げます。いつも本当にありがと
うございます。

また、私ども神奈川県PTA協議会(以下、県P)の活
動にご理解とご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

昨年度は当協議会内の各地域で会議や研修に参加させていただき、皆さまとの素晴らしい出逢いを
たくさんいただきました。その中で様々な意見交換を行ったことで、改めて私たち県Pは、地域で活動
されている皆さんをしっかりと支えられる組織でありたいと強く思いました。

さて今年度も我が県Pは3つの基本方針を掲げ、それに紐づく活動を行っております。

- 今の私たちができるPTA活動の役割やカタチを皆さんと一緒に考えていきます。
- 市町村郡をはじめとする地域のPTAの皆さんを応援します。
- 神奈川県教育委員会との包括協定に基づき連携協力を図ります。

これからのPTAが担う役割や、皆さまの考える活動しやすいPTAのカタチ。何より私たちの子ども
たちや学校に寄与できる活動のカタチを皆さまと一緒に考え、各市町村郡や地域のPTAで活動する
皆さんとの対話を大切に、皆さんの応援団になります。また地域学校協働活動、いのちの授業やいじめ
防止対策、部活動の地域移行など、神奈川県教育委員会との協力を深め、積極的に取り組んで参ります。

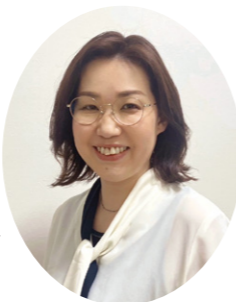
今年度も県Pの活動をこの「PTAかながわ」を通じて皆さまへお届けして参りますので、引き続き
お読みいただけたら幸いです。

私たち大人が、今のこの社会で子どもたちとともに何かを感じ、学び、成長し、そしてともに歩いていくこ
と。その一歩はきっとこの先の未来へつながる私たちにできる大切な一歩なのではないかと私は考えます。

昨年と同様になりますが、私たちが温もりのある思いで、真ん中に子どもたちを据えてつながり、と
もに歩めば、子どもたちも私たち大人もたくさんの素敵な笑顔に出逢えると私は信じます。PTA活動
がそのきっかけになってもいいはず、とも思っています。

私たちの子どもたちのまわりに、いつもやさしい陽だまりが広がりますように。

神奈川県PTA協議会
会長 小林 真希



向上委員会便り

向上委員会では毎年2つの事業を実施しており、その1つとして「神
奈川県教職員組合との教育を語るつどい」を行っています。今年度は
9月18日の第3回理事会後に開催され、テーマは「子どもへのアンケート
調査から考えるこれからの部活動」でした。文部科学省のガイドライン
をふまえて、県教育委員会が示した「公立中学校における部活動の地域
移行に係る神奈川県の方針」では、休日の学校部活動の地域移行をすす
めるにあたり、生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術等の活動環境
となるよう、その整備に向けた当面の間の考え方や対応の方向性が示されて
います。部活動のあり方が大きく変わろうと
している今、部活動の今後のあり方について活発な意見交流が行われました。

つどいでは、県教委や県中体連のアンケート結果をもとに、教職員や保護者がそれぞれの立場から、最適な部活動環境
の整え方について意見を交換しました。このような場は、未来を担う子どもたちに寄り添い、成長を支える大人たちが集
まる貴重な機会となりました。

部活動を通じた経験や、先生、仲間との関係が、将来の職業や生き方に大きく影響することもあります。一方、つどいでは
教職員の働き方改革の観点から意見交流をすることもでき、多角的な視点で部活動のあり方について考えることがで
きました。

今後も、学校と地域が連携して子どもたちが笑顔で充実した学校生活を送れるよう、さまざまな取り組みを進めていき
ます。さらに、12月には小・中学校長会との懇談会を予定しており、こちらでも意見交流を行う予定です。

向上委員会委員長 田畑智賀



第72回日本PTA全国研究大会 第56回 関東ブロック研究大会 川崎大会

ウェルビーイングの実現を、川崎の地から ～活かそう「縁」の力～

日本PTA全国研究大会・関東ブロック研究大会が、8月23日(金)、24
日(土)、今回初めて分科会、全体会の区別なく川崎市とどろきアリーナに
て開催され、私たち神奈川県PTA協議会(以下県P)からは総勢55名、全
国各地からとどろきアリーナがいっぱいになる程の参加者がつながる心
を携えて川崎市とどろきに集い、盛大に川崎大会が開催されました。

熱気を帯びた現地の大会内容の報告は県P facebookをご覧ください。
関東ブロック大会内で、我が県Pの大木健一前会長が感謝状表彰を受け
惜しみない拍手が送られました。

私たちは、未来を担う子どもたちを慈しみ、見守り、支えていきたいという想いを抱き、様々な「縁」によって繋
がった社会生活を営んでいます。自分の生きる道だけでなく、家族や友達、学校や住んで居る地域、それぞれの幸
せのあり方に馳せるウェルビーイングの大切さを、さまざまな繋がりを通じて、伝え広げること、家庭・学校・
地域がウェルビーイング(より良い状態)の実現を目指して、より良い子どもたちの教育環境づくりと、より活発
なPTA活動とを全国的に推進していくことを大会宣言とし、川崎大会は幕引きとなりました。

- 一、社会の大きな変化を学び、進化を考えるPTA活動を推進します。
- 一、自己肯定感を高め合い、活力あるPTA活動を推進します。
- 一、誰も取り残さない、居場所を大切にPTA活動を推進します。

川崎大会に関わってくださった全てのかたへ、心より感謝と御礼申し上げます。



第66回 神奈川県PTA大会 茅ヶ崎大会

大会スローガン 「ともに描こう ここから続く私たちの未来デザイン」

大会趣旨 「継続」と「改革」

一見、相対するようにはみえますが、それぞれの意味を調べ考えてみると、「継続」は今あるものを持続させること。
「改革」は新しいアイデアやアプローチを導入して今あるものの状況をより良いものにすること。

両者はバランスが必要であり、継続と改革を適切に組み合わせることで持続的な成長と改新を実現できるとあり
ます。そして、個人や組織の成長と進歩において重要な考え方であるともあります。

私たちPTAにおいても「継続」と「改革」を皆さんと今、考えていく時期だと私たちは思っています。

「改革」=「リフォーム(re-form)」より良いものに改めるという意味です。

様々な変化やその兆しが訪れた時に大切な基軸を見失うことなく、より良い状況へ改革することを考えて向き
合いそれが具現化できたら、その先はまた皆さんの笑顔を生み育むことができるのではないのでしょうか。

子どもたちとともに歩む未来への一歩を、私たちが今、ともに考えていきませんか。

令和6年11月7日(木) 茅ヶ崎市民文化会館 大ホールにて開催

大会式 表彰式(PTA団体表彰/広報紙コンクール表彰)

- 研究大会 ①愛川町P連「楽しい≧めんどくさい」～ふざけた大人の文化祭～
- ②鎌倉市P連「チームPTAを未来へつなげ!!」～こどもと大人の笑顔あふれる鎌倉へ～

基調講演 講師：山本昌 氏(元プロ野球選手、解説者)

1965年8月11日生まれ、茅ヶ崎市出身。「球界のレジェンド」の異名を持ち、数々の大記録を達成した名
選手。現役32年を中日ドラゴンズ一筋で活躍してきたフランチャイズプレイヤー。引退後は野球解説者・
スポーツコメンテーターとして活動する傍ら、2018年からは母校の日本大学藤沢高等学校の特別臨時コーチ
に就任。2022年、功績を認められ野球殿堂入りを果たした。

